

令和5年度組織目標 知事協議概要

部 局 名	土木交通部
日 時	令和5年(2023年)4月19日(水) 16:35~17:30
場 所	特別会議室
出 席 者	知事、江島副知事、大杉副知事、知事公室長、総合企画部長、総務部長、総務部管理監 土木交通部長、理事(公共事業調整担当)、理事(交通政策担当)、次長(事務)、次長(技術)、管理監(交通戦略課長事務取扱)、技監(魅力ある公園・まちづくり担当)、流域政策局長、監理課長、技術管理課長、道路整備課長、道路保全課長、砂防課長、都市計画課長、住宅課長、建築課長、流域政策局副局長(兼広域河川政策室長)、流域治水政策室長、河川・港湾室長、水源地域対策室長

発言者	発言概要
大杉副知事	グリーンインフラは子どもの学びにもつながるということで是非取り組んでいただきたい。滋賀地域交通ビジョンは、福祉・子育て世代を含めて取り組んでいただくためにも横串を通すことが非常に大事であり調整に尽力いただきたい。県庁内の議論のインフラも作り変えていただきたい。
江島副知事	前向きな発言が多く良い部だと思って聞いていた。土木交通部は安全・安心の砦である。安全・安心という基本にしっかり取り組んでいただきたい。公園については種別・部局を超えて取り組むということで期待している。文化ゾーンにカフェができるなどの取組が始まっており、今後は県庁全体の公園で進めていただきたい。公園魅力向上推進会議を通じて各部局を束ね、楽しい視点を持ちながら取り組んでいただきたい。
総務部長	交通税については、一緒に考えていきたい。公園については、歳入の視点からも検討いただきたい。資源高・物価高の影響による動向についてフォローをお願いしたい。
総合企画部長	女性技術者のネットワークができたと伺っている。女性活躍の取組が継続できるようにサポートをお願いしたい。また、部内の女性職員の意見を汲む取組、中長期的なキャリア形成についてもサポートをお願いしたい。
知事公室長	知事公室とは防災分野、災害対応で密接に関係している。市町の首長からは、住民を避難させる責任があるが、データがない、判断が難しいという意見があり、河川の水位観測などについて工夫をお願いしたい。
知事	「シン・土木交通部」今年らしさ、滋賀らしさという姿勢は良い視点と感じた。港湾にも是非取り組んでいただきたい。
理事(公共事業調整担当)	大津の周辺を見ると、港があり街、山があり神戸と一緒にという印象を持った。港として魅力のある要素が揃っているのに、港が活かされていないと感じた。港湾では「みなとオアシス」という登録制度があり、若者が集うことができる取組ができればと考えている。
知事	港の力を大いに活かしていただきたい。舟運も含めて様々な視点で考えていただきたい。
土木交通部長	「みなとオアシス」については、淀川の伏見港なども参考にし検討しているところ。
知事	京都疎水も活かした取組を検討して欲しい。土木交通部は多くの業務があるため、業務の見直しにも取り組んでいただき、より良い仕事の仕方を追求して欲しい。「水」を活かす取組を企業庁や琵琶湖環境部とも連携しながら世界に打ち出すという視点で検討していただきたい。「交通」はしっかり取り組みたい。今年度は都市計画基本方針に基づく滋賀地域交通ビジョンを作る大事な年である。様々な議論を様々な場面、イベントで取り上げるようお願いしたい。インフラ整備や交通、公園は、暮らしの幸せ、健康福祉、安全自治、街の活性化につながることから、このような言い方で打ち出しをしていきたい。「公園」は徹底的にやりたいと考えている。何年かけてどこまでするのかというものを作る必要がある。都市公園だけではなく、文化・自然・森林などの分野にパークPFIの視点でできることがあると思われる。特に今年度はトイレと生き物にこだわりたい。「グリーンインフラ」にも期待する。グリーンリスキングとして、リスキングの視点を入れられないか。学びや人材確保にもつながる取組と期待している。丹生ダム中止後の地域振興については、残存山林を県有地化するというやったことのない取組である。過去の経緯や期限もあるが逃げずに取り組んでいきたい。また、民間などのファクターも活かしながら取り組んでいただきたい。県営住宅も大事な取組。福祉・人権の視点を持っていただきたい。困っている人に住むところを提供することが大事である。様々な家族のスタイルにも対応した公営住宅づくりを滋賀県から率先してできれば感じた。令和7年度にかけて新名神など様々な道路が概成してくる。この後、どのように産業誘致ができるのかということを出していけないかと考えている。北部振興にもつなげていければと考えている。
土木交通部長	国への要望の中でも道路が整備できた後の効果について打ち出しており、セットで整備を進めてまいりたい。
知事	産業誘致戦略も夏までに作る予定であり、次の産業誘致につなげていきたい。
土木交通部長	商工観光労働部の情報を取り入れながら要望にもつなげてまいりたい。女性活躍については、建設業界とも密に連携し、県職員も含めて取り組んでまいりたい。
知事	選ばれる職場、業種につながると思うので期待している。